

1 学校の概要

(1) 学校の所在地域

本校：秋田県北部に位置し、日本三鶏の一つ「比内地鶏」の産地で有名な大館市比内町に開校

かづの校：「花輪ばやし」と「大湯ストーンサークル」で有名な鹿角市花輪に開校

たかのす校：「大太鼓の里」北秋田市に位置する社会福祉法人の総合福祉施設に隣接して開校

(2) 県立特別支援学校〈知的障害教育〉では県内で一番の歴史

本校：昭和49年4月開校(寄宿舍併設)、昭和59年高等部設置

分校：昭和52年(両分校ともに、社会福祉法人立の児童施設に隣接)開校

かづの校(平成10年)、たかのす校(同12年)が、それぞれに高等部設置

(3) 緑豊かな自然に恵まれており、学校緑化コンクール、学校花だんコンクール等で受賞多数 (H29年度県緑化コンクールにおいて県知事賞受賞)

本校：校地の総面積約5万㎡(内、農業実習地1万5千㎡)

かづの校：約8千㎡、たかのす校：約7千㎡

(4) 県教育委員会及び文部科学省委嘱の研究への協力等実績

職業自立調査研究、就職サポート事業、障害児理解推進、交流教育推進、適正就学推進、センター的機能充実研究、児童生徒放課後生活支援事業、教育課程、授業改善、共生充実事業、特別支援教育に関する実践研究充実事業、職域開拓促進事業、ICT活用教育推進事業

※平成28年度：文部科学大臣表彰(キャリア教育優良校)

(5) 児童生徒の状況

① 児童生徒数 本校114名、かづの校50名、たかのす校39名 計203名

② 児童生徒の障害の状況

知的障害の他、肢体不自由、病弱等の重複障害、自閉症等の発達障害、重度の障害により医療的ケアや訪問教育の対象児童生徒が在籍している。

(6) 校舎改築の状況

本校は、現在校舎改築中であり、令和元年12月に校舎棟が完成した。令和2年度に体育館着工(完成は令和3年度)、令和3年度に寄宿舍及び食堂の改築、令和4年度にグラウンドを整備する予定である。

2 令和3年度の学校経営

(1) 方針

本校は県北地区特別支援教育推進の中心校としてその責務の遂行に努めながら、様々な障害や行動特性のある児童生徒に対して、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を一貫して行う。このため、特別支援教育の専門性を高め、日々の授業及び生活指導を充実させ、「自立と社会参加」を目指す教育活動を展開する。

(2) 教育目標

児童生徒の障害の状態や発達段階、特性に応じた教育環境を整備し、一人一人の可能性を最大限に引き出しながら、自立的に社会参加できる力を育成する。

◎めざす児童生徒像（校訓）

- ・健康・・・心身ともに健康になろうと努力する子ども
- ・誠実・・・喜びをもって精一杯努力する子ども
- ・自立・・・自分のことは自分の力で成し遂げようと努力する子ども

◎めざす学校像

- ・地域と共に育ち、地域に感謝される教育活動を推進する学校
- ・一人一人の思いや願いに応え、積極的に自立と社会参加を目指す学校

(3) 今年度の重点事項

① 地域と共に育ち、地域に感謝される学校づくりの推進

- ア 恵まれた自然環境や開校当時の理解ある地域との関係を活かした教育課程を編成し、児童生徒の実態に即した特色ある教育活動を展開する。
- イ 地域を題材とした学習に積極的に取り組み、学校と地域が共に育つ活動の実践や地域から感謝される体験を通して、児童生徒の「本物の力」を育てる。

② 子どもの思いや願いに応える教育活動の展開

- ア 「おだやかに、ゆるやかに、ていねいに」を基本とし、日々の評価と改善等の授業研究を推進することで、教師の指導力及び専門性の向上を図る。
- イ 体験的、実際の学習を工夫しながら、常にチャレンジある学習活動を展開する。
- ウ 学習指導要領の基本的な考え方を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の視点とICTの活用等による授業の質を高め、時代に求められる児童生徒の資質・能力を育成する。
- エ 希望する進路の実現を目指し、早期からの働く力の育成を含めた実践的職業教育の充実を図る。
- オ 学校生活及び学習の基盤である情緒の安定を図ることを重点とし、関係機関と連携し、児童生徒の実態に即した生徒指導の充実を図る。
- カ 生徒の意欲を尊重し、目標を明確にした練習の充実等により、部活動の活性化を図る。

③ 児童生徒の安全安心と健康な生活の確立

- ア 感染症への対策を徹底するとともに、危機管理マニュアル等を活用し、保護者や地域、関係機関と連携した安全教育、防災教育を推進する。
- イ 専門家との連携による職員研修や授業改善等により、重度重複障害や医療的ケア等の指導を含めた自立活動の充実を図る。

④ 特色ある教育活動と魅力ある学校づくりの推進

- ア 本校においては、校舎改築の基本理念の実現を目指し、新校舎の機能を最大限に活かした教育実践を推進する。
- イ かつの校、たかのす校においては、それぞれの地域の特色を活かした理解推進及び地域活動プロジェクトに取り組み、魅力ある学校づくりを一層推進する。
- ウ 寄宿舎においては、進路を見据えた基本的生活習慣の確立を図るとともに、生徒主体や生活の質の向上を意識した生活日課の設定や余暇活動、自治活動等に取り組む。

3 令和3年度の学校評価の視点

- ・地域と連携し、自立と社会参加に向けた力を育てる教育課程を編成・実施しているか。
- ・子どもの思いや願いに応える授業改善に取り組んでいるか。
- ・児童生徒が健康で安全安心な生活ができる教育を展開しているか。
- ・特色ある教育活動や魅力ある学校づくりを推進しているか。